

平成30年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年4月13日

上場会社名 株式会社 エッチ・ケー・エス
 コード番号 7219 URL <http://www.hks-power.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水口 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 赤池 龍記
 四半期報告書提出予定日 平成30年4月16日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 0544-29-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第2四半期の連結業績(平成29年9月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第2四半期	3,461	2.8	55	103.7	88	26.6	57	32.3
29年8月期第2四半期	3,366	3.7	27	84.5	70	59.3	84	59.2

(注) 包括利益 30年8月期第2四半期 97百万円 (43.2%) 29年8月期第2四半期 172百万円 (82.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第2四半期	79.38	
29年8月期第2四半期	117.15	

(注) 平成30年3月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第2四半期	11,694	8,560	72.8
29年8月期	11,503	8,506	73.6

(参考) 自己資本 30年8月期第2四半期 8,516百万円 29年8月期 8,460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期		0.00		12.00	12.00
30年8月期		0.00			
30年8月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成30年3月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合いたしましたので、平成30年8月期(予想)の1株当たり配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を掲載しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年8月期(予想)の1株当たり期末配当金は12円00銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年8月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,430	5.0	300	47.6	310	17.2	220	14.9	305.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年8月期の連結業績予想(通期)における1株当たり純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年8月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は61円00銭となります。詳細につきましては「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年8月期2Q	800,000 株	29年8月期	800,000 株
期末自己株式数	30年8月期2Q	78,778 株	29年8月期	78,778 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年8月期2Q	721,221 株	29年8月期2Q	721,406 株

(注)平成30年3月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 株式併合後の配当および業績予想について

当社は、平成29年10月13日開催の取締役会において、平成29年11月29日開催の第44期定時株主総会に株式併合について付議することを決議し、平成30年3月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株の割合で株式併合を実施することが同株主総会において承認可決されております。併せて、同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株への変更)を実施いたしました。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年8月期の配当予想および連結業績予想は以下の通りとなります。

(1)平成30年8月期の配当予想

1株当たり配当金 (期末) 12円00銭

(2)平成30年8月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 (期末) 61円00銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用、所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調を見せられており、個人消費も持ち直しております。しかしながら、隣国の情勢の緊迫化、米政権の混乱や政策の行き詰まり、および欧州の政治情勢の不透明感の高まり等により、予測の難しい不透明な状況が続いております。

当社グループが属する自動車業界におきましては、国内新車販売台数が、一部の自動車メーカーの無資格検査問題の影響もあり10月以降5ヶ月連続で前年実績を下回るという厳しい状況となっております。

当社が主とする自動車のアフターマーケット事業は、国内においては市場自体の停滞により前年同期比で減少となりました。海外においては北米地域の復調およびアジア地域、特に中国での販売が好調だったことにより前年同期比で増加となりましたが、アフターマーケット全体では前年同期比で減少となりました。このような中、当社では1月に富士スピードウェイを1日借りきっての当社主催イベント「HKSプレミアムデイ」の開催、および東京オートサロンに3年ぶりに出展する等広告宣伝活動に力をいれ、今後の巻き返しを図っております。また、ガソリンとガス燃料とを併用して走行することができるBi-Fuel車改造事業の売上高は前年同期比で大幅に減少となりましたが、当期より販売を始めましたIoT車載通信機の売上高が新たに加わったため、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は3,461百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

損益面では、アフターパーツ売上高の減少等の要因により売上総利益率が前年同期に比べ2.3ポイント下降し、利益の減少要因となりましたが、販売費及び一般管理費が前年同期に比べ71百万円減少したことにより、営業利益は55百万円（前年同期比103.7%増）が替差益15百万円の計上等により、経常利益は88百万円（前年同期比26.6%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は57百万円（前年同期比32.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ190百万円増加し、11,694百万円となりました。このうち、流動資産は、前連結会計年度末に比べ551百万円減少し、5,189百万円となりました。これは主に譲渡性預金等有価証券が満期償還により300百万円、現金及び預金が212百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ741百万円増加し、6,504百万円となりました。これは主に、当社の実験棟および国内子会社の工場の新設等に伴う建設仮勘定の増加額633百万円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ136百万円増加し、3,133百万円となりました。このうち、流動負債は、前連結会計年度末に比べ136百万円増加し、2,292百万円となりました。これは主に、電子記録債務が128百万円、支払手形及び買掛金が59百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ0百万円減少し、840百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少額16百万円および退職給付に係る負債の増加額15百万円等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ54百万円増加し、8,560百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が29百万円、利益剰余金が13百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べ85百万円減少し、1,623百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は476百万円（前年同期は13百万円の使用）となりました。これは主にたな卸資産の増加による資金の減少額116百万円等の減少要因がありましたが、減価償却費244百万円および仕入債務の増加による資金の増加額176百万円、ならびに売上債権の減少による資金の増加額115百万円等の増加要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は228百万円（前年同期は1百万円の使用）となりました。これは主に預入期間が3ヶ月を超えていた定期預金の払戻による増加額700百万円の収入に対し、当社の実験棟および国内子会社の工場の新設等に伴う有形固定資産の取得額877百万円等の支出があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は64百万円（前年同期は262百万円の使用）となりました。これは主に長期借入金の減少による19百万円の支出および配当金の支払額42百万円の支出があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,836,293	1,623,375
受取手形及び売掛金	1,113,566	1,000,756
有価証券	500,000	200,000
製品	1,291,263	1,399,884
仕掛品	216,316	225,499
原材料及び貯蔵品	507,489	520,706
その他	281,397	224,789
貸倒引当金	△5,189	△5,072
流動資産合計	5,741,136	5,189,940
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,399,749	1,388,985
機械装置及び運搬具(純額)	1,016,787	1,062,061
土地	1,994,718	2,001,272
リース資産(純額)	31,810	29,901
建設仮勘定	290,143	923,923
その他(純額)	105,012	121,234
有形固定資産合計	4,838,221	5,527,377
無形固定資産		
その他	155,625	190,219
無形固定資産合計	155,625	190,219
投資その他の資産		
投資有価証券	625,426	643,695
長期貸付金	14,599	14,859
その他	131,267	129,816
貸倒引当金	△2,901	△1,790
投資その他の資産合計	768,393	786,581
固定資産合計	5,762,240	6,504,178
資産合計	11,503,377	11,694,118
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	265,929	325,695
電子記録債務	321,515	449,881
短期借入金	972,881	969,646
リース債務	4,122	4,122
未払法人税等	24,898	46,727
賞与引当金	89,494	72,131
その他	477,110	424,689
流動負債合計	2,155,952	2,292,894
固定負債		
長期借入金	441,154	424,707
リース債務	29,888	27,827
役員退職慰労引当金	31,540	36,270
退職給付に係る負債	311,761	327,381
資産除去債務	4,550	4,585
その他	22,508	19,920
固定負債合計	841,401	840,691
負債合計	2,997,354	3,133,585

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	878,750	878,750
資本剰余金	963,000	963,000
利益剰余金	6,934,367	6,948,351
自己株式	△306,903	△306,903
株主資本合計	8,469,213	8,483,197
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,605	63,572
為替換算調整勘定	△59,999	△30,552
その他の包括利益累計額合計	△8,393	33,020
非支配株主持分	45,202	44,314
純資産合計	8,506,022	8,560,532
負債純資産合計	11,503,377	11,694,118

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
売上高	3,366,936	3,461,288
売上原価	2,021,700	2,158,906
売上総利益	1,345,235	1,302,382
販売費及び一般管理費	1,317,770	1,246,431
営業利益	27,464	55,950
営業外収益		
受取利息	3,831	3,538
受取配当金	2,624	2,458
貸倒引当金戻入額	-	1,305
為替差益	21,695	15,401
その他	19,875	15,046
営業外収益合計	48,027	37,749
営業外費用		
支払利息	5,082	4,358
その他	273	538
営業外費用合計	5,355	4,897
経常利益	70,136	88,803
特別利益		
固定資産売却益	1,143	5,508
投資有価証券売却益	-	492
補助金収入	10,000	-
受取補償金	70,075	-
特別利益合計	81,219	6,000
特別損失		
固定資産売却損	6	-
固定資産除却損	16,459	1,529
社葬費用	17,720	-
役員退職慰労金	31,508	-
特別損失合計	65,695	1,529
税金等調整前四半期純利益	85,660	93,274
法人税、住民税及び事業税	41,734	43,198
法人税等調整額	△38,612	△4,187
法人税等合計	3,122	39,011
四半期純利益	82,537	54,263
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,980	△2,993
親会社株主に帰属する四半期純利益	84,518	57,257

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年9月1日 至 平成30年2月28日)
四半期純利益	82,537	54,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,811	11,966
為替換算調整勘定	55,954	31,553
その他の包括利益合計	89,766	43,519
四半期包括利益	172,303	97,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	169,476	98,670
非支配株主に係る四半期包括利益	2,827	△887

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	85,660	93,274
減価償却費	253,016	244,906
貸倒引当金の増減額(△は減少)	139	△1,305
賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,503	△17,362
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△111,940	4,730
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,985	15,620
受取利息及び受取配当金	△6,456	△5,996
支払利息	5,082	4,358
為替差損益(△は益)	△1,149	1,138
有形固定資産除売却損益(△は益)	15,322	△3,979
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△492
補助金収入	△10,000	-
受取補償金	△70,075	-
売上債権の増減額(△は増加)	175,735	115,882
たな卸資産の増減額(△は増加)	△226,117	△116,881
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△15,758	△5,309
仕入債務の増減額(△は減少)	119,477	176,712
その他の流動負債の増減額(△は減少)	17,704	△42,177
未払消費税等の増減額(△は減少)	△27,466	△23,510
その他	△16,245	△1,405
小計	181,410	438,202
利息及び配当金の受取額	6,934	6,156
利息の支払額	△5,100	△4,372
法人税等の支払額	△197,155	△20,224
法人税等の還付額	-	56,250
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,910	476,012
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	550,000	700,000
有価証券の償還による収入	200,000	-
有形固定資産の取得による支出	△514,563	△877,463
有形固定資産の売却による収入	2,139	5,707
無形固定資産の取得による支出	△50,752	△60,037
投資有価証券の取得による支出	△201,425	△1,466
補助金の受取額	10,000	-
その他	3,429	4,558
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,172	△228,700
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△150,000	-
長期借入れによる収入	50,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△108,007	△119,682
リース債務の返済による支出	△1,030	△2,061
配当金の支払額	△53,759	△42,979
財務活動によるキャッシュ・フロー	△262,797	△64,722
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,915	4,492
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△257,964	187,082
現金及び現金同等物の期首残高	1,966,452	1,436,293
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,708,487	1,623,375

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年9月1日 至 平成29年2月28日)

当社グループの報告セグメントは、「自動車等の関連部品事業」のみであり、「その他の事業」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年9月1日 至 平成30年2月28日)

当社グループの報告セグメントは、「自動車等の関連部品事業」のみであり、「その他の事業」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。